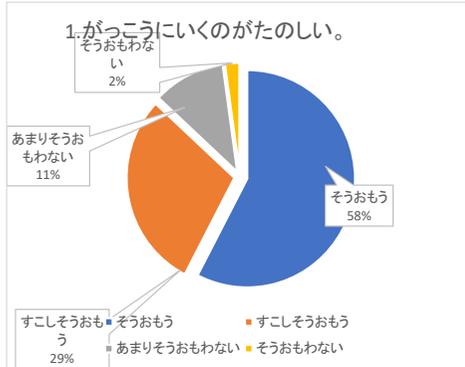


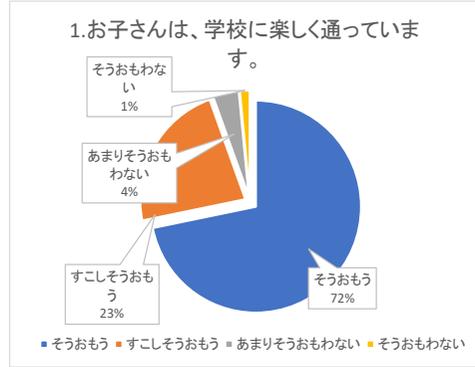
令和5年度 坂戸小学校 学校評価アンケート結果報告

明るく健康な子

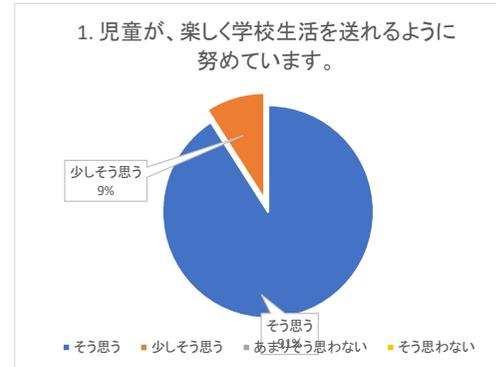
児童アンケート



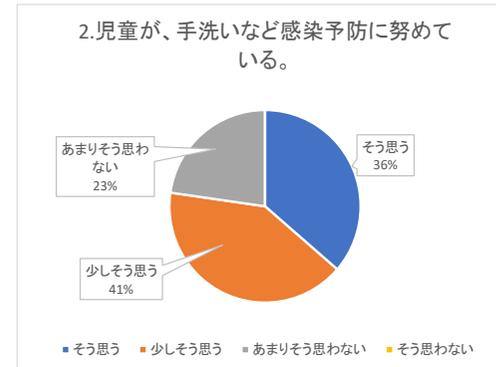
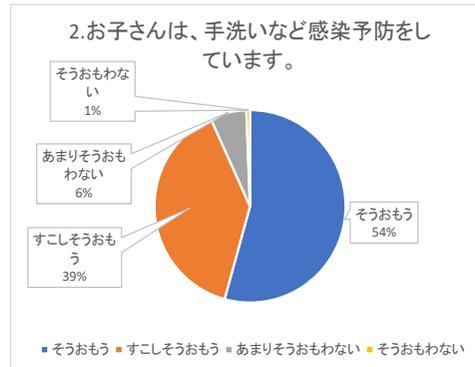
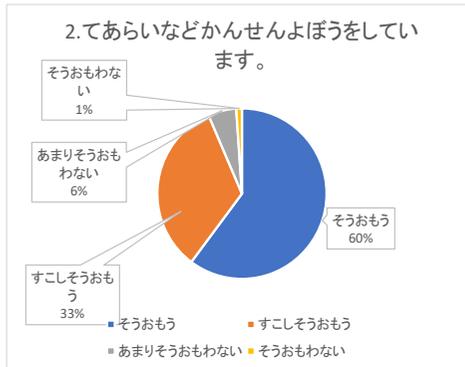
保護者アンケート



職員アンケート



1. 保護者は「そう思う」「少しそう思う」を合わせて95%と、昨年度と変わりませんが、児童は昨年度より5ポイント減っています。校庭が使用できない中、体を動かして友達と自由に遊ぶことが減っていることが一因と考えられます。また、ここ数年の児童数増加により、体育館で全校児童が集まることも難しくなっています。2学年・3学年ごとの異学年交流やイベントを児童主体で企画するなど、学校生活が楽しくなるように子どもたちと一緒に考えていきます。
学習指導要領が改訂されて3年が経ちます。子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の土台となる、学校生活への意欲を高められるように、さまざまな視点から手立てを考えていきます。

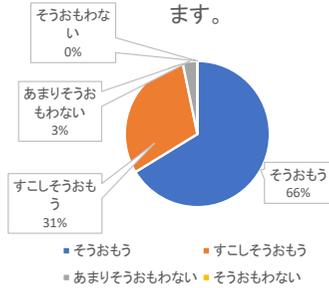


2. 児童は昨年度とほぼ同程度の結果ですが、保護者は「そう思う」が22ポイント減っています。コロナ禍以前の日常に戻ってきたことの現れとも言えますが、児童は依然として感染予防を意識していることがうかがえます。風邪などが流行って来ると、マスクをする児童が自然と増えている印象はあります。今後も過度に心配せず、必要に応じて対策するように子どもたちへ伝えていきます。

やさしく思いやりのある子

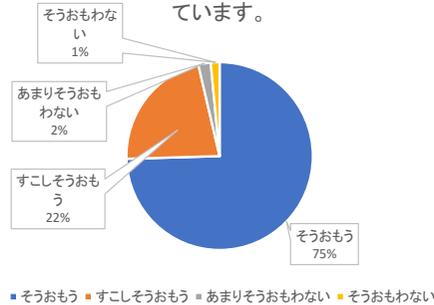
児童アンケート

3.ともだちがこまっているときにやさしく
こえをかけたりはなしをきいたりしてい
ます。



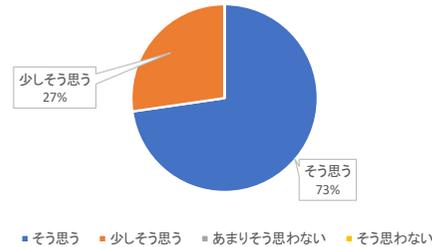
保護者アンケート

3.お子さんは、学校で友達と仲よく過ご
しています。



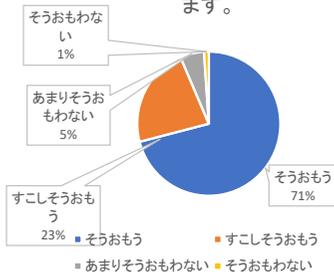
職員アンケート

3.児童が、優しい言葉や心配りができるよ
う指導に努めています。

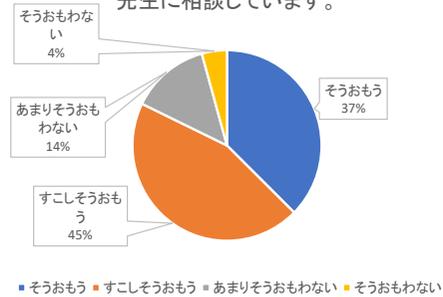


3.児童と保護者共に「そう思う」「少しそう思う」を合わせると97%の結果になっています。ここ数年ポイントが上がっています。坂戸っ子の素直でやさしい姿の現れとともに心の成長がうかがえます。また、今年度は、「(あまり)そう思わない」児童が一人もいなかったことも、嬉しい結果です。保健だよりも載っていましたが、保健室に高学年が低学年を連れてくる姿も多く、養護教諭もそのやさしさを褒めています。引き続き、日々の学校生活の中で、やさしさや思いやりの気持ちを育てていけるよう努力していきます。

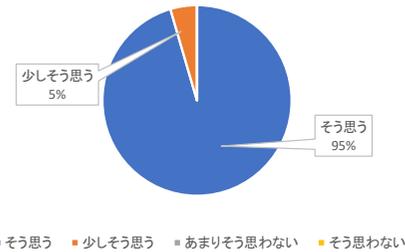
4.がっこうにはこまったときにそうだん
できるひと(ともだち、せんせいなど)がい
ます。



4.お子さんは、学校で困った時に友達や
先生に相談しています。



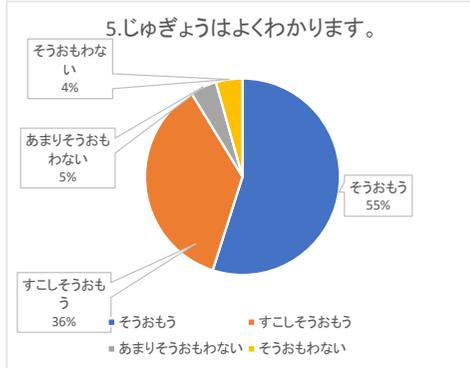
4.児童が、学校で困った時、先生に相談で
きるよう支援しています。



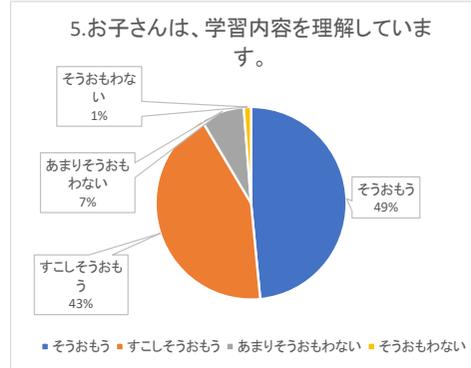
4.児童は、「そう思う」「少しそう思う」を合わせると94%以上の結果になっています。昨年と変わらないポイントですが、気になるところは、「そう思う」のポイントが減り、「そう思わない」のポイントが増えている点です。また、保護者の結果が、昨年度に比べて「そう思う」「少しそう思う」が減り、「そう思わない」「あまりそう思わない」が増えています。しかし、保護者が思うより、児童は、先生や友達に相談できているということにも見えて取ることができます。また、学校では特に相談はしないけれども、家庭で話ができているとも考えられます。今後も相談できる雰囲気づくりと共に、折に触れ、「先生や友達に相談することは悪くないこと」や「相談することによって、解決することのよさ」について子どもたちに伝えていきます。

よく考え行動する子

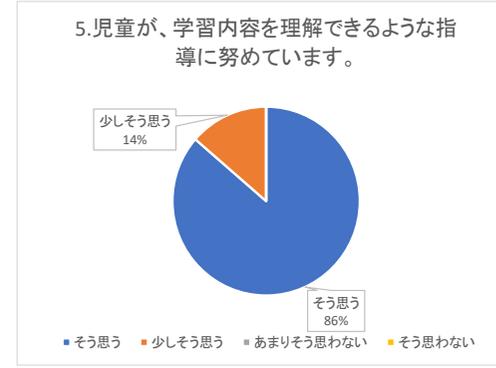
児童アンケート



保護者アンケート

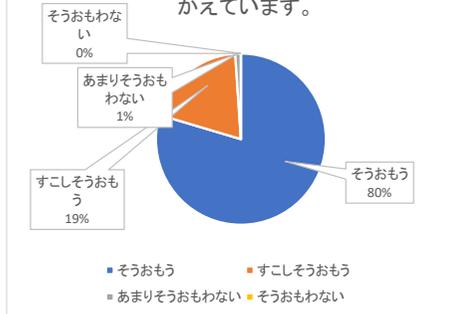


職員アンケート

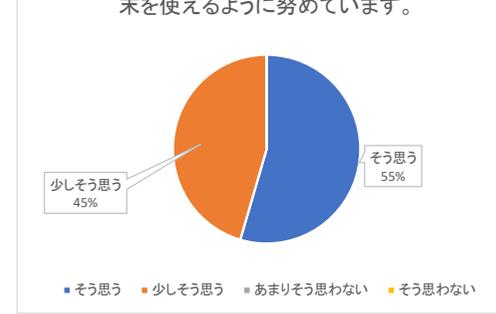


5. 「そう思う」「少し思う」と回答した児童を合わせると91%の結果になっていますが、昨年度より4ポイント減少しています。「そう思う」だけを見ると、9ポイントの減少です。指導や支援の方法について再考し、児童らに、できる喜びや分かる楽しさを味わわせられるよう、さらなる指導力向上をめざしていきます。保護者も「そう思う」「少し思う」を合わせた回答と、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた回答は、児童とそれほど相違のない結果となりました。引き続き、授業参観や個人面談などで学校での学習状況を伝えたり、家庭での児童の様子を聞いたりしながら、よりよい指導を考えていきます。

6.やくそくをまもって、GIGAたんまつをつかえています。



6.児童が、情報モラルを理解してGIGA端末を使えるように努めています。

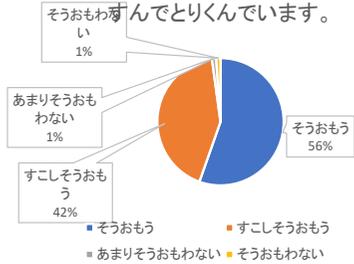


6. 99%の児童が、「そう思う」「少し思う」と回答しています。GIGA端末の操作にもだいぶ慣れ、上手に活用しながら学習に取り組む様子が見られています。しかし、中には大人が気づかないところで間違った使い方をしている児童も見受けられます。正しい使い方ができるよう継続した指導を行っているところです。また、学年に応じた外部講師による情報モラル教室も行っています。情報モラルの大切さをその都度確認しながら、今後も継続して指導していきます。

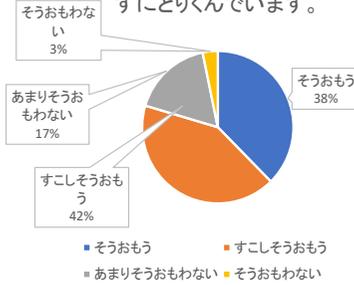
最後までやりとげる子

児童アンケート

7.とうばんやかかり、そうじ、いいんかい、クラブ、こうがいがくしゅうなどにすんでとりくんでいます。

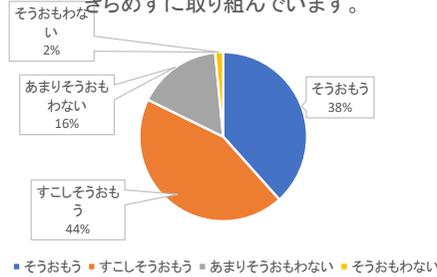


8.にがてなことにもさいごまであきらめずにとりくんでいます。



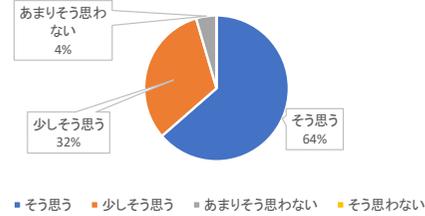
保護者アンケート

8.お子さんは、苦手なことにも最後まであきらめずに取り組んでいます。

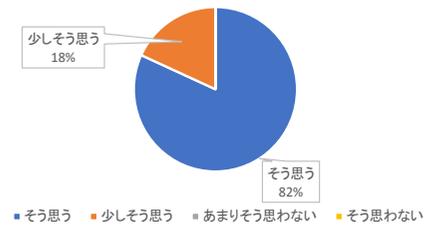


職員アンケート

7.児童が、当番や係活動、委員会、クラブ活動を通して自主的・実践的な態度が育まれるように努めています。



8.児童が、苦手なことにも最後まであきらめずに取り組めるよう支援しています。



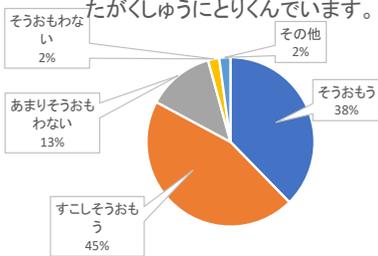
7.「そう思う」は、2年続けて減少傾向にあります。「少しそう思う」を含めると、96%から98%と大きな変化は見られません。前年度の考察どおり、校庭が使えないため、児童の活動の内容が限られてしまっていることが一因ではないかと推測しています。コロナ禍で制限されていた行動も、かなり解除されてきました。児童が意欲をもって取り組める活動を取り入れていけるように、引き続き手立てをとっていきます。

8.昨年と比較して、「そう思う」が58%から38%へと、大幅に下がっています。「やさしく思いやりのある子」や「よく考え行動する子」の数値にあまり変化がなく、「学校に行くのが楽しい」と「当番・係、そうじ・委員会・クラブ・校外学習などに進んで取り組んでいます」の値が下がっていることから、学習や友達関係以外の諸活動が、学校生活への意欲や楽しさに大いに関係していると考えられます。また、学習や友達関係以外の諸活動を通して培われた力が「苦手なことにも最後まで取り組む力」につながっていると考えています。今後の諸活動を充実させることで課題解決をめざしていきます。

地域とある学校

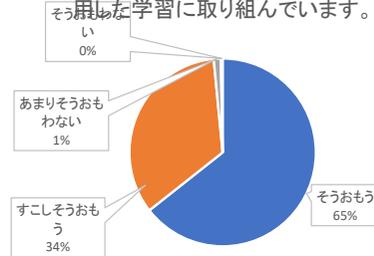
児童アンケート

9.かわさきやちいきのよさをかつようしたかくしゅうにとりくんでいます。



保護者アンケート

9.坂戸小学校は、川崎や地域のよさを活用した学習に取り組んでいます。



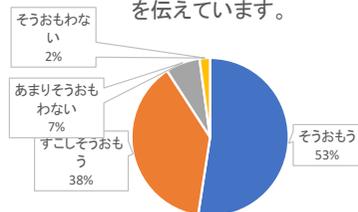
職員アンケート

9.「そう思う」「少しそう思う」と答えた児童の合計は昨年度とあまり変わりませんが、「そうおもうわない」と答えた児童の割合が増えています。本校では、各教科等の特質を踏まえ各学年の発達段階に応じて「近隣の保育園（幼稚園）との交流」「畑を借りての大根栽培体験」「町探検」「消防署見学・体験」「ユークレナ社による出前授業」「ミットヨ工場見学」等地域教材を生かした教育活動を行っています。また、本校には有志による合唱団があり、地域に歌声を披露する場を設け恩返しできるような活動も行っています。コロナ禍で地域に出かける機会が減ってしまった影響もありますが、私たち教師が地域の大切さを子どもたちに伝えていく必要があります。自分たちが住んでいる地域に感謝し、ふるさと意識を育てていきたいと思っています。

- そうおも
- すこしそうおも
- あまりそうおもわない
- そうおもわない
- その他

- そうおも
- すこしそうおも
- あまりそうおもわない
- そうおもわない

10. 坂戸小は、学校だより、懇談会、学校説明会、ホームページなどで学校の様子を伝えています。



- そうおも
- すこしそうおも
- あまりそうおもわない
- そうおもわない

10. 本校は、学年だより、懇談会、学校説明会、ホームページなどで学校の様子を伝えています。



- そう思う
- 少しそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

10. 「そう思う」「少しそう思う」が82%から91%に増えています。昨年度に比べて授業参観や懇談会など学校行事も実施できるようになりました。今後も、ミマモルメやホームページ等様々な方法で学校の様子を発信していきたいと思ひます。